

事業所における自己評価表

事業所名 まんまるONE

公表日：2026/3/31

	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①利用定員に対して指導 訓練室等スペースとの関 係は適切であるか	4			利用者様3名に対して個別ブースを3つ設け、お子さま一人につ き一つのブースを利用できるようにしています。活動内容に応 じて、運動時はトレーニング室や多目的室、作業時は作業室を 使用できるようになっています。個別ブース以外にも余暇を過 ごせるフリースペースを確保しており、必要に応じて空き部屋 を使って環境調整ができるようにしています。
②職員の配置数は適切で あるか	3		1	支援時間を細分化し各利用枠の定員を調整することで、お子さ ま一人につき職員1名以上が対応できる体制を整えています。 一方で、支援や管理業務、事務作業を安定して進めるために職 員ごとの事務量と支援数のバランスを調整が課題となっていま す。
③事業所の設備等につい て、バリアフリー化の配 慮が適切になされている か	1	1	2	メイン玄関には腰掛け場を設けています。建物正面には車椅子 でも段差なく入れる部屋を用意しています。バリアフリー化は 十分ではありませんが、危険箇所には電気や貼り紙で注意喚起 を行っています。課題として、2階・3階への移動は階段のみと なっています。
④業務改善を進めるため の目標設定と振り返り に、広く職員が参画して いるか	4			毎日13時20分からの昼ミーティングで、利用者様に関する共有 や日々の支援の振り返り、意見交換を行っています。また、業 務上の確認事項や前日までの振り返りに加え、各職員が担当す る事務作業やタスクも全体で共有し、協力し合える体制づくり に取り組んでいます。目標設定の視覚化と共有については、今 後の課題としています。
⑤保護者等向け評価表を 活用する等によりアン ケート調査を実施して保 護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげて いるか	3	1	0	保護者アンケートは今回が初めてですが、日々の支援後の フィードバックや保護者様とのコミュニケーションを通して、 常にニーズや意向を伺うようにしています。また、保護者会や 参加型イベントを定期的実施し、まとまった時間の中でご意 向を把握し、業務改善につなげるよう努めています。
⑥この自己評価の結果 を、利用者も閲覧でき るようシステム上で公開 しているか	3	1		Hugアプリを活用し、結果を電子システム（携帯電話やイン ターネットなど）で閲覧できるようにしています。 また、法人のホームページにも掲載し、閲覧できるようにして います。
⑦職員の資質の向上を行 うために、研修の機会を 確保しているか	4			職員の資質向上のため、年間計画に研修日を設け、オンライン 研修や法定研修、チームビルディング研修を受講できる環境を 整えています。また、他事業所の見学や交流会を通して情報交 換の機会を確保し、実践的な学びにつなげています。
⑧アセスメントを適切に 行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に 分析した上で、放課後等 デイサービス計画を作成 しているか	4			ご利用様の個別ファイルには、支援員が確認しやすいよう支 援プログラムを添付し、常にニーズや課題を把握できるように しています。 また、昼のミーティングや空き時間を活用し、お子さまのアセ スメント整理や日々のモニタリングの共有を行う時間を設けて います。

	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑨子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	支援に入る前にお子さまの様子を確認しています。標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、保護者の気づきや職員の観察内容を丁寧に共有し、適応行動の状況を把握しています。
⑩活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			日々の会議や昼のミーティングで意見を出し合い、結果を共有しながらプログラムのモニタリングを行っています。必要に応じて別日にチーム会議を設け、プログラムの作成や見直しを行います。また、他事業所や学校とも情報共有の機会をつくり、改善に役立てています。活動プログラムのアイデアが出た際は、ミーティングで共有しチームで検討して取り組んでいます。
⑪活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			活動プログラムが固定化しないよう、さまざまな方の意見を取り入れて進めています。前の設問で述べた取り組みと同様に、保護者から常にニーズを聞き取り、内容を検討しながらプログラムを工夫しています。
⑫平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2		2	個別支援のため長期休暇も平日と変わらないため。 イベントなどを企画している 長期休暇には運動プログラム、宿題やつつけたい、プール遊びなどを実施しており、季節のイベントとして休日に夏まつり、運動会、クリスマス会などを行っている。
⑬子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			お子さまの状況や保護者のニーズに応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しています。3～4人で行うインスパイアリズムやイベントなどの集団活動も取り入れ、個別療育と併せて実施する場合があります。計画作成にあたっては、保護者とのアセスメントを大切にしています。
⑭支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			日々の会議や昼のミーティングを必ず実施し、その日の支援内容や役割分担を職員間で確認しています。
⑮支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			日々の会議で支援の振り返りを行っています。緊急性のある内容は支援終了後に時間を設けて共有し、通常の振り返りは翌日の昼ミーティングで確認しています。
⑯日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		記録のつけ落としがないよう日々業務量を共有し、記録の見直しも継続して行っています。正しい記録方法には課題がありますが、支援の重要なポイントを細かく記録するよう努めています。
⑰定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			10問目の設問の工夫の通りです。日々のミーティングの中で常に計画の見直しに必要な部分を検討しています。

	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			ガイドラインを定期的に見直ししながら、創作活動・運動遊び・認知機能系の活動を組み合わせ、支援を行っています。
⑲学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1		必要に応じて学校と情報共有や連絡調整を行っています。関係者会議にも必要に応じて参加し、より良い支援につなげています。送迎は実施していませんが、終業式・始業式などの予定は保護者や児童から聞き取っています。
⑳就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		就学前に利用していた施設との情報共有に努めています。相談員や保護者から書類を引き継ぎ、サービス等利用計画を職員間で回覧して理解を深めています。直接見学できていない施設もあるため、今後さらに相互理解を進めていく必要があります。
【21】学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1		事業所間で情報交換や交流を行い、必要に応じて訪問して支援内容を共有しています。記録や計画などの書類も提供できる体制ですが、実際の移行事例はまだありません。
【22】児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		動画研修や対面研修を受講し、その内容をスタッフ間で共有しています。直接助言を受けている機関はありませんが、発達障害者支援センターの研修には参加しています。
【23】放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		1	地域交流の機会として、オープン記念イベントで地域の方を招いたほか、各種イベントを通じて交流を行っています。年に1度、NPO法人うりんこくらぶ主催のノーマライゼーションイベントに参加しているほか、地域向けのオープンデーや、児童クラブ併設の体育館の利用などを通して、障害のない子どもたちとの活動の機会を設けています。
【24】日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			支援後には必ず保護者様と話す時間を設け、フィードバックやご意向の確認を行っています。毎回の支援で継続的に情報共有を行い、より良い支援につなげられるよう取り組んでいます。
【25】保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2		保護者様からご相談があった際や支援後のフィードバックの時間に、ペアレント・トレーニング的な支援を行っています。毎月、障害や発達に関する本を図書館から借りて待合スペースに設置し、保護者様が自由に手に取れるようにしています。また、保護者会では対面でのプログラムや勉強会の機会も設けています。

	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
【26】 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			運営規程や支援内容、利用者負担については、契約時に丁寧に説明しています。また、書面や全体LINEで随時お知らせし、分かりやすい表現を心がけています。運営規程は保護者様が閲覧できるよう待合いスペースにファイリングしており、不明点があればその都度説明しています。
【27】 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			保護者様の子育ての悩みには、必要に応じて相談の時間やスペース、人員を確保し、寄り添ってお話を伺っています。フィードバックの時間以外でも、ご要望に応じて面談を行い、適切な助言や支援を提供しています。
【28】 保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			保護者様同士が気軽に交流できるよう、待合いスペースの環境づくりに取り組んでいます。また、保護者会や保護者遠足などのイベントを開催し、保護者様同士のつながりを深める機会を設けています。
【29】 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			子どもや保護者からの苦情には、寄り添って丁寧にお話を伺い、LINEや電話などの連絡手段を用いて迅速かつ適切に対応しています。
【30】 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		1	季節やイベントに合わせて随時お知らせを掲示し、行事の予定や詳細も発信しています。会報については、必要に応じて発行する形で対応しています。
【31】 個人情報に十分注意しているか	3	1		個人情報は施錠管理を徹底し、書類や電子機器は鍵付きの書庫に保管しています。また、必要な場所以外では個人情報に関する話を行わないよう配慮しています。さらに、安全性を高めるための収納環境の整備にも取り組んでいます。
【32】 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		子どもや保護者との意思疎通のため、活動後にフィードバックを行い、電子機器や視覚的なツールを用いて情報を分かりやすく伝える工夫をしています。今後は意思疎通の手段としてPECsの導入も検討しています。
【33】 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			オープンデーの開催や、事業所併設のカフェ・レンタルスペース・卓球ルームの開放などを通して、地域の方々に参加しやすい環境を整え、地域に開かれた事業運営を行っています。
【34】 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			緊急時対応・防犯・感染症対応の各マニュアルについて、会議や研修でシミュレーションや意見交換を行い、職員への周知を図っています。保護者様には、待合いスペースでのファイリングや玄関掲示を通して確認できるようにしています。

	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
【35】 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			定期的に避難・救出などの訓練を行っており、毎年2回以上は職員のみで避難・消火・通報訓練を実施しています。また、毎シーズンには支援時間の中で子どもを対象とした避難訓練も行っています。
【36】 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止のため、支援をオープンに行うことを心がけ、毎年終日かけて学ぶ研修を実施するなど、職員が適切に対応できる体制を整えています。
【37】 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		身体拘束は、まず代替手段を検討したうえで、子どもや周囲の安全確保が必要な場合に限り実施します。必要時には事前に保護者様へ丁寧に説明し、同意を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しています。
【38】 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットが発生した際には内容を確認し、子どもたちの特性を踏まえて職員間で共有・話し合いを行っています。会議を通して事例を振り返り、安全性を高める取り組みを進めています。